

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭61-180710

⑬ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和61年(1986)8月13日

A 61 K 7/16
// A 23 G 3/30

7133-4C
7732-4B

審査請求 有 発明の数 1 (全2頁)

⑮ 発明の名称 チューインガム

⑯ 特 願 昭60-20740

⑰ 出 願 昭60(1985)2月5日

⑱ 発 明 者 鈴 木 一 彦 愛知県東加茂郡旭町大字小渡字七升蒔十六番第宅地
⑲ 出 願 人 鈴 木 一 彦 愛知県東加茂郡旭町大字小渡字七升蒔十六番第宅地

明 細 書

1 発明の名称

チューインガム

2 特許請求の範囲

ガムベース原料に糖原料及び香料を添加し、更に研磨剤及び薬用成分を配合したことを特徴とするチューインガム。

3 発明の詳細な説明

本発明は噛むことによって歯磨き効果のあるチューインガムに関する。

チューインガムは子供から大人まで広く愛用されていて、顎の発達を促進させたり、口中をすっきりとさせて気分転換を図ったりするのに役立っている。しかし一方では多量に糖類が含まれていることから、肥満、虫歯の一原因であることは否定できない。

従来よりチューインガムは菓子としての価値しか認められておらず、せいぜい糖原料の使用を控えてダイエット製品としたり、葉緑素を添加して虫歯予防、口臭除去効果をキャッチフレ

ーズとして売出すなどいずれも気安め程度にすぎず、積極的に歯の健康を考慮した製品はなかったのである。

歯の健康、即ち虫歯予防や歯肉炎の治療等は随時歯磨きを敢行すれば大いに効果が期待できるものの、時間的余裕がなかったり、つい怠けたりして毎日規則正しく実行することは極めて困難なことであるが、歯の健康を守ることは大切なことであるから、歯磨きをおろそかに考えるべきではないし、前記ガムを噛むことを習慣としている者にとってその習慣をなくすことは精神衛生上も好ましくはない。

この様に歯の健康に対して一方は効果が期待できるが実行が難しく、他方は虫歯の原因となるが、噛むことをやめるには問題があるといった課題の関係にある歯磨きとチューインガムの両者を効果的に結び付けて、実行が容易なチューインガムを噛むといった手段によって同時に歯磨きが可能となるならば、歯の健康を守る上で真に理想の方法といえる。

そこで本発明は噛みたいとの欲求が強いチューインガムに、必要ではあるが面倒で怠りがちな歯磨きの作用を持たせ、従来チューインガムを噛むことが歯の健康に害を及ぼすといった悪影響を逆に歯の健康を守る効果に一変させることを目的としたもので、その構成はガムベース原料に糖原料及び香料を添加し、更に研磨剤及び薬用成分を配合したことにある。

次に本発明の実施一例を説明すると、先ずメキシコチクルをチューインガムのベースとし、該ベースに柔軟性を与えると共に植物性樹脂との混和性を良くするワックス、歯つき防止や原料相互間の混和性を高め分離を防止する乳化剤としての脂肪酸グリセリンエステル、ガムベースのだれを防止する炭酸カルシウム等をスチームジャケット付のニーグによって溶解混合し、追心分離機にかけた後冷却してペレット状とする。次に糖原料として200～300メッシュに粉碎したケーンシュガーと、香料としてのペーメント油を添加し、更に歯の研磨剤として

微量のリン酸水素カルシウム及び無水ケイ酸と、薬用成分として極めて少量の塩酸クロルヘキシンを配合してガムミキサにより練成混合する。練成混練したチューインガムの塊をミキサより取り出し、エキストルードで帯状に押出して付着防止用の粉糖を上下にまぶして数段の圧延ロールを通した後、クーリングトンネルを通して規定の厚さのシートに圧延する。しかる後裁断ロールで規定の寸法にカットして熟成室へ運び、物性を安定化させる。その様にして形成されたチューインガムを包装して製品とする。

以上の様にして製造されたチューインガムは、現在売られているチューインガムと比べても、ガムベース、糖類、香料に同様のものを使用しているので噛みごこちは充分満足のできるものであり、噛むことによってチューインガムに含まれている研磨剤が歯の汚れを除去し、薬用成分によって歯肉炎の防止、治療をすることができるのである。

配合する研磨剤は、硬度があまり高くなく、

細かい粒度で尖がった形をしてなくて、歯牙自身に損傷を与えたり、歯肉組織に創傷を負わせる虞れがなく無害であることを条件にして、リン酸水素カルシウム及び無水ケイ酸以外に、重質、軽質炭酸カルシウム、炭酸マグネシウム、水酸化アルミニウム、第二、第三リン酸カルシウム、ピロリン酸カルシウム等が挙げられる。又薬用成分として、歯牙エナメル質の対酸強化に効果のあるフッ素化合物、殺菌、消炎効果のあるヒノキチオール、アズレン、酸の中和をするリン酸アンモン、尿素、歯石を除去するゼオライト、EDTAやラウロイルサルコシネート、デハイドロ酢酸ソーダ、ビタミンK等の抗腐薬を配合することもできる。前記研磨剤、薬用成分、その他糖質や香料は上記に列記されたものの、及び従来のチューインガムに使用されているもののなかから適宜選択して組合わせ使用しても差支えなく、その配合割合は、チューインガムの特性が損なわれない程度に留める。以上の如く本発明によれば、ガムを噛むことによ

て歯磨きをしたのと同じ効果を得られるので、ガムを噛む習慣のある人はその都度歯が清掃され、頑固な煙草のヤニまでも奇麗に除去されて見違えるような白い歯となり、しかも薬用成分の働きにより歯は健康に保たれる。又例えばガムを噛む習性のない人でも、歯磨きを忘れた時に本発明のチューインガムを噛めば歯磨きを省略することが可能となるし、無論歯磨きと本発明のチューインガムとを併用すればより効果的である。

従って本発明により、虫歯で苦しむ人や歯肉炎で歯を台無しにしてしまう人が大幅に減少し、健康で美しい歯を維持するために貢献するところ多大である。

特許出願人 鈴木 一彦